

軽井沢や北軽井沢では、自動車道にもよく動物が現れます。昼はほぼ出会わないのですが、夜間にはほぼ 100% 何らかの動物に遭遇します。何度も走っていると、動物の種類によって現れる場所が決まっていることに気づきます。それぞれの動物は、どこでも好き勝手に歩き回っているわけではありません。主に食べ物をさがすためにお気に入りの「経路」があるのです。毎晩同じような経路を通るので、そこに柵道（そまみち）ができる場合もあります。それがいわゆる「けもの道」です。

けもの道が県道や国道を横切っている箇所もあります。特に注意しなくてはいけないのが「シカの通り道」です。軽井沢町中軽井沢と、長野原町羽根尾を結んでいる「国道 146 号線」にも、シカの通り道と交差している箇所があります。キツネやタヌキなら自動車と接触しても、被害は動物自身だけです。可哀そうですがよく見かけます。シカの場合体重があるので、自動車のほうにも大きな損傷があり、時には人身事故になることもあります。私はこの「シカ多発地帯」を夜間に走行する時は、スピードを落とし、更に 10 秒おきにクラクションを鳴らしながら通過しています。

それでもシカにはよく遭遇します。先日も国道の真ん中に若いシカが立ち止まっていました。スピードを落としていたので、接触せずに済みました。もともと国道や県道は、けもの道を分断して建設されていることを忘れてはいけませんね。

(2025 年 5 月中旬／長野県軽井沢町国道 146 号)

